

令和5年度第4回甲賀市介護保険運営協議会 概要報告

1. 開催日時 令和5年11月17日（金）午後2時00分～午後3時30分まで

2. 開催場所 甲賀市役所 301会議室

3. 出席者

委員 栗田会長、今村(陽)委員、奥村委員、山形委員、堀井委員、藪下委員
富岡委員、小川委員、飯田委員、福西委員、今村(慎)委員、奥嶋委員
松宮委員、西田委員、岡田委員（出席15名・欠席1名）

事務局 健康福祉部 部長 澤田いすづ
次長 伴統子
長寿福祉課 課長 松井章
室長（地域包括支援室） 田口真理
課長補佐 山本好美、森地真弓
係長 近藤紀子、前田真美、奥村浩司、奥村直美
主任保健師 西田薫

受託業者 株式会社ぎょうせい

4. 傍聴 無

5. 会議次第

1) 開会

市民憲章唱和

会長あいさつ

2) 議事

第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定について

① 計画素案（第1部総論・第2部各論第1章）について

② 計画素案（第2部各論第2・3章）について

③ 介護保険料について

3) その他

6. 配布資料

【資料1】甲賀市第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画（計画素案）

【資料2】介護保険料について

7. 概要

議事

第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定について

① 計画素案（第1部総論・第2部各論第1章）について

事務局 資料1（第1部総論・第2部各論第1章）に基づき説明

会長 ただいま説明いただきました件について、ご意見、ご質問等がございましたら挙手をお願いします。

委員 8ページの認定率の動向について、国・県との比較があるが、甲賀市のみ減少傾向である。高齢化率は上がっているが認定率が下がっている理由はなにか。

事務局 この3年間は、新型コロナの影響によりサービスが使えない状況があるなどしたため、介護申請につながらない方もおられたのではないかと。また、コロナ前は、介護予防の取組や介護予防の大切さの啓発に重点を置いていたので、市民の意識が変わったり、介護予防に取り組んでいただいたことで効果が出たのではないかと考えている。

委員 冊子はカラーで大変読みやすくなって良かった。39ページの6で在宅生活の継続のための取組の充実について、介護保険サービス以外の支援サービスで、地域の資源として移動や買い物などNPO等も行っているが、事故が起こったときを考えボランティアも制限されるようになってきている。安心してできるようになると良いと思う。

会長 認定率が下がっている理由として、コロナの影響なのかこれまでの介護予防の効果が出たのかでは意味合いが変わってくる。全国はコロナでも増えているわけで、難しいが、介護予防の意識の変化ということであれば、甲賀市の取組として全国に発信するプラスの情報になるので原因を考えることは有効なことだと思う。

38ページの生きがいづくりの○の1つ目の表現が初めて読んだ人には分かりにくいのと、37ページの文章中の図25の表記場所が違うので修正してください。

委員 9ページの認知症の状況について、10ページの認知症自立度の状況について、施設にて思うことは、現場の職員と医師、家族で認知症の自立度が変わってくる。デイサービスに来ている方で、現場で感じていることの情報共有を始めているところである。統合が取れてないと感じる。

事務局 認知症高齢者の自立度は、審査会で出された最終的なものであるが、ケアマネや家族、調査員、医師など、認識に誤差が生じている現状がある。今後は、ケアマネやデイサービス、ヘルパーの話も調査に入れて最終判断できればと思う。

会長 非常に難しいところで10ページにあります自立やたびたびという言葉にどこまでなのか現場と医師などでは時間的にも違う。日常のことなので日常

の情報が入り、少しでも良くなるように、できる範囲で少しずつ変えていければ良いと思う。

② 計画素案（第2部各論第2・3章）について

事務局 資料1（第2部各論第2・3章）に基づき説明

会長 ただいま説明いただきました件について、ご意見、ご質問等がございましたら挙手をお願いします。

会長 93ページの計画の進行管理については、昔から福祉関係ではPDCAサイクルを使われているが、今でも全国的にはPDCAサイクルで進行管理をされているのか。

事務局 国の第9期の基本方針資料においても、PDCAサイクルによるものとされている。

委員 88ページの地域支援事業費の見込みの包括的支援事業の認知症地域支援・ケア向上事業が令和8年度に上がっている理由は何か。

事務局 62ページの認知症地域支援推進員の配置数を令和8年度に1人増やすことを計画しており、主にその人件費を増額して記載している。

委員 88ページの包括的支援事業について、地域包括支援センターの運営を順次委託していく計画となっているが、この見込み額は直営でも委託でも事業費は変わらないのか。

事務局 地域支援事業費は上限が決まっており、包括的支援事業と任意事業は上限を超えて実施している。上限までが介護保険料の対象となるので、88ページには上限額を記載している。

委員 8ページの認定者数が減少しているが、80ページの将来推計では認定率が徐々に上がることに違和感がある。全国、県では上がってきているが、市では地域での取組などで下がっていくのは良いことだと思うので下げていくグラフの方がよいのではないか。

事務局 実績としては下がってきており、今後の推計は難しいところがあるが、79ページにあるように高齢者の人数は増加し、高齢者の内訳も後期高齢者の人数も増える推計となっている。前期高齢者より後期高齢者の方が、介護が必要になる割合が高いことから認定率も上がっていくと推計をしている。

会長 予測は難しいが、指摘のとおり下がっているので原因は考えていかなければならない。介護保険料など予算的に不足すると困ることもあるので、今の根拠で増えていくという推計でよいが、次年度コロナの影響が減った状況が出てくるので、今後の認定率を見ていく必要がある。コロナの影響がなくても下がってくれば、予防の効果があり、翌年度どうするのか考慮に入れていく。そういう意味では検証の重要な年かと思う。

③ 介護保険料について

会 長 この議題については、公開することにより、率直な意見の交換もしくは、意思決定の中立性が損なわれる恐れがあることや、意思決定までの過程の情報ですので、市民等の間に混乱を生じさせる恐れがあること、市の事務や事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあることなどが考えられるので、非公開にすることとしてよろしいか。

委 員 了承

その他について

事務局 今後のスケジュールについて12月に答申、1月にパブリックコメントを行う。

・会議内容の公開又は非公開について

事務局 本日の会議内容の公開・非公開について、当協議会は市の附属機関にあたるので公開が原則となる。本日の会議で介護保険料については意思決定過程であるため非公開とするが、その他の議題については個人情報等非公開にしなければならない内容は含まれていないので、すべて公開とし、議事録での発言者は個人名でなく「委員」として公開することとしてよろしいか。

委 員 了承